



梅林堂

塩豆大福だより

11 月号 令和4年

「“毎度”有難うございます」

昭和40年ごろから梅林堂にはお客様のご来店からお見送りまでの一連の流れを想定した「標準販売用語」というものが有ります。それは、

「いらっしゃいませ。毎度有難うございます。」
 「やわらか12枚入れ1折でございますか？」
 「はい、かしこまりました。少々お待ちくださいませ。」
 「お待たせいたしました。1575円頂きます。」
 云々と続きます。



ある時お客様のご意見として

冒頭の「いらっしゃいませ。毎度有難うございます。」という販売用語に対し、「そんなにいつも来ていないのに“毎度有難うございます”と言われると何かおかしいよ!」のご意見を頂きました。

当時の菓子業界コンサルタント安藤慎吾先生のご指導を受け「標準販売用語」を決めて以来、販売員の指導の基本として使っています。以来50年ほどになりますが、寸分も変えていません。

その言葉にはそれぞれに老舗としての意味があるからです。この「毎度」とは、ご来店いただきお買い上げいただくお客様だけでなく、ご利用いただけなくても梅林堂の事を思っていること 知って頂いていること この事だけでも「ありがたい」という日頃からの思いを込めてご来店に感謝するという事です。それは、菓子屋だけでなくすべての商売に於いてそう考えるべきだと思い指導しています。販売員としてのプライドでありプロ意識の表れなのです。

始めてご来店頂くお客様には少々の違和感がお有りになると思いますが、そんな思いでおりますことどうぞご容赦くださいませ。その思いがお菓子の美味しさを作り出している老舗の拠り所だと考えております。11月は豊年栗大福でございます。

「いらっしゃいませ。毎度ありがとうございます。」とお店でお迎えいたします。

因みに、標準販売用語の最後は「ありがとうございます。またどうぞお願いいたします。」で終わります。

株式会社梅林堂 代表取締役 栗原良太

このおいしさ もっともっと知ってほしいから

毎月 **22**日は **塩豆大福**の日

塩豆大福 **2割引**
2個入・3個入・5個入

数量限定 豊年栗大福
11月22・23日限定販売 4個入 **972円** (税込)

11月22^火・23^水日限定販売

秋の実りに感謝して

豊年栗大福

春夏秋冬さまざま食材に
恵まれている日本ですが
秋は特に楽しみの多い季節ですね。
梅林堂では大粒の黄栗を丸ごと包んだ
豊年栗大福をお作りいたします。

4個入 972円(税込)



“美味しい”は笑顔を作ります